はちおうじ総務相談所　事務所通信　第17号

2017年２月１日

新聞電子版とデファクトスタンダードと私

電子版なら捨てる手間もありませんし……

はちおうじ総務相談所の長岡です。１月下旬にアメリカでトランプ政権が誕生し、その型破りな言動に世界が注目しているのではないかと思われます。日本経済にも、少なからず影響があるのではないでしょうか。

そんなこともありまして、昨年末から日本経済新聞電子版の有料会員に登録してみました。紙版（宅配）は契約していないので、月額4,200円です。配達コストがないのに紙版と数百円しか違わないのは割高な感じもしますが、それで世の中が回っているので仕方ありません。

これまでも、なんとなく「読んだほうがいいかも」とは感じていました。中小企業の社長さんと話しているときなどに、「この前、日経で読んだんだけど……」みたいな流れになることもありますので。そこで話に全然ついていけないと、ちょっと気まずい思いをすることになりますからね。我々が小中学生のころに、ジャンプを読んでいないと致命的だったのと似たような感覚ではないでしょうか。

しかし、年間約５万円というのは、なかなかの出費です。これが月額1,000円くらいだったら、もっと早く申し込んでいたのでしょうが。正直、私の望む価格とは釣り合っていないのですが、「ビジネスパーソンなら日経」みたいな雰囲気には勝てませんでした。

やはり、「この商品ならこの会社」というように、業界標準まで登り詰めると強いですね。中小企業においても、絞り込んだ分野で業界標準を目指す戦略は有効なのかもしれません。

日経電子版に戻りますと、スマートフォンで読めるので、移動時間や行政窓口での待ち時間などに利用しています。しかし、記事の数が膨大なため、意識しないと惰性で読み続けてしまう傾向もあり、情報を取捨選択する能力を磨かなければいけないなと思う今日この頃です。

今月の予定（2017年２月）

16日（木）確定申告の受付開始（３月15日まで）

今月の推薦図書　vol.17

『僕らが毎日やっている最強の読み方』
池上彰・佐藤優 著　2016年　東洋経済新報社

知識人として著名な２人が、対話形式で自分たちの情報収集術（と教養を身につける方法）を紹介していく本です。新聞広告で見かけて購入してみました。

新聞・雑誌・書籍、そしてインターネットに分けて、それぞれの活用法などが説明されています。２人とも、定期購読している新聞だけでも10紙以上になるそうで、そのまま真似しようとしたら大半の人が潰れてしまうでしょう。超人の真似をするのは危険です。

でも、情報の分別方法などは参考になりました。プロのスポーツ選手と同じ練習をするのは無理でも、「ここを意識しながら身体を動かしている」みたいな要素を自分の練習に取り入れて効率化する、そんな効果が期待できるのではないでしょうか。

この２人は職業も職業ですので、まさしく人生をかけて教養を磨いているような印象を受けました。我々はそこまで貪欲に知識を追い求めなくてもよいとは思いますが、自分の仕事の質をトコトン上げていこうとする姿勢には刺激されますね。あと、価値のある情報を発信するためには、それに相応する情報収集が不可欠なのだと感じました。

今月の推薦映画　vol.17

『スポットライト 世紀のスクープ』
トム・マッカーシー 監督　2015年

ボストンにあるローカル新聞社の精鋭チームが、カトリック教会のスキャンダルを暴いていくお話です。実話に基づいた内容で、一連の記事は2003年のピューリッツァー賞に輝いているのだとか。ちなみに、本作品もアカデミー賞を受けています。

罪を犯しているとはいえ、なにせ相手は教会なものですから、司法関係者からですら、まともには情報を引き出せなかったようです。デリケートな事件なので被害者からの取材も難しく、調査はなかなか進んでいきません。そういった困難を必死に乗り越えていく記者たちのプロ根性が、この作品の見どころなのではないかと感じました。

また、新聞の購読者には地元教会の熱心な信者も多かったようで、管理層や経営層には、そのあたりの葛藤もあるわけです。教会には教会の論理があり、弁護士には弁護士の正義があり、それぞれの立場がぶつかり合う様子も、なかなか見応えがありました。

情報収集や利害関係者の調整に手こずってプロジェクトがなかなか進まず、くじけそうになっているときなどに、お薦めの一本なのではないでしょうか。

編集後記

今回は新聞から話を広げてみました。正直、新聞はそれほど信用していなくて、それでも毎朝きちんと届けてくれるので「読み物」として楽しんでいたのですが、取材に裏付けされた記事には、それなりの価値があることをあらためて感じました。「新聞を（そのまま）読む」のではなく、「新聞で（必要な情報を）読む」意識が大切なのかもしれません。

この事務所通信も中身の情報をもっと充実させないといけないなと思いつつ、今回もこんな内容になってしまい、例によって反省している次第であります。

はちおうじ総務相談所　事務所通信　第17号　（2017年２月１日発行）
発行責任者：長岡俊行（行政書士・社会保険労務士・経営革新等認定支援機関）
お問い合わせ先：042-636-4000　nagaoka@802soudan.jp